

歩 街 田原

街あるつく田原

第23号

- 伝統の田原凧
- 夢育活動 / 田原凧まつり
- 丸一電器

平成26年6月1日号

発行元 / 株式会社あつまるタウン田原

所在地 / 愛知県田原市田原町萱町1

TEL / 0531-24-2345 URL / <http://www.tahara-tmo.com/>

大空に舞い揚がる 伝統の田原凧

田原凧は、江戸時代初期から続き、男の子の誕生と無事を願って揚げられてきた「初凧」（現在は、男女問わず子供の誕生と健やかな成長を願って揚げられている）と、江戸時代後期、庶民の間で盛んに行われていたとされる、大空で糸を切り合う「けんか凧」（凧切り合い・凧合戦ともいわれている）があります。

田原凧の特徴は、横長で、縦に2本つりあいを調整するための糸目が付けられています。一見不安定な構造が、田原凧の縦横無尽な動きを可能にしています。

初凧は、熟練の凧絵師により鮮やかな武者や華やかな歌舞伎絵が描かれますが、女の子の誕生を祝う初凧には、巴御前や牛若丸などが描かれます。一つとして同じものではなく、初凧祈願祭では、子供の名前入りの大凧が願いを込められ大空を高く舞い揚げられます。

けんか凧は、昔は「ガッチン」と呼ばれる初凧の糸に、雁木^{がんぎ}というコノの字型の刃物を付けて、凧糸を手繰り寄せながら互いの糸を切り合っていました。しかし慶応の末年、ナンキン（南京）というガラス瓶を粉末にした物を糸に糊付けした物が世に出

回り、けんか凧の戦法が一変し、現在のような戦法に変わっていきました。

毎年約40チームが独自の凧印（数字や記号）を描き空高く揚げ、糸を切り合う合戦をし、「つばめ返し」や「十八番切り」など、技と技がぶつかりあう真剣勝負の空中戦は、地元はもとより県外、海外にもファンを増やしています。

昭和24年（1949年）に田原凧保存会が結成されて以来、今も保存会が中心となって、毎年5月の第4土曜日・日曜日に「田原凧まつり」が開催されています。

「初凧」「けんか凧」はともに、田原市の「無形民俗文化財」に指定されていて、二つのそれぞれの魅力をもった凧揚げの風習が、今も受け継がれています。

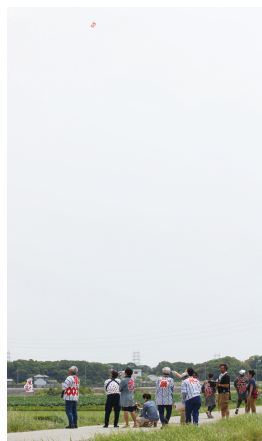
●田原まつり会館では、初凧やけんか凧が展示されていて、凧作り教室も開かれています。詳しい内容は、田原まつり会館ホームページをご覧ください。

田原まつり会館

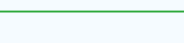
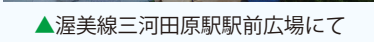
<http://www.taharakankou.gr.jp/spot/000042.html>



田原まつり会館



《街なか情報ピックアップ》 …街のホットな話題をご紹介します♪…



「二七の市」 移転のお知らせ

くホタル保全く
加治の宮川にホタル舞う



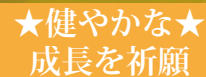
く田原胤を学ぶく



に け れ

初 健や 云員 上な

した



田原の企業・お店で活躍されている方をご紹介します！

株式会社 丸一電器 飯尾 元康さん

●プロフィール

1984年、田原町生まれ。大学を卒業後、名古屋の電気工事会社で修業したのち、家業を継ぐ。



住 田原市田原町東大浜 128-7
☎ 0531-22-0594
営 9:00-20:00
休 毎週月曜日
駐 15台



▲今年で創業55年を迎える「丸一電器」の3代目、飯尾元康さん。

お店の歴史

昭和34年、家電販売店として飯尾元康さんの祖父が田原町柳町に店を開店し、4年後に現在の場所に移転。家電販売を続けながら、電気工事の仕事も始めるようになりました。

元康さんは大学を卒業後、名古屋の電気工事会社で働き、平成21年、25歳の時に祖父・父の勧めもあり、3代目として家業を継ぐ事になりました。

新たな取組み

その頃は地デジブームでテレビが良く売れていたが、その後急速にテレビ販売量が全国的に落ち込み、量販店の進出やネット販売の影響もあり、家電の販売売上は減少してしまいました。そこで、電気工事や公共施設の保守点検業務の比重を増やし、新たな需要開拓を推進し始めました。しかし、特殊な電気工事や保守点検業務の入札に参加する為には、様々な資格取得が必要になり、講習会・研修・試験と忙しい日々を送っています。

理想のお店作り

田原の街なかには、全国平均以上に高齢化社会になっています。積極的に高齢者宅を訪問し、工事や販売を請け負うことが大切だと痛感しているそうです。

店に行きたくても車の運転が出来ない、重い物を持つことが出来ない、そういったお客様にとってこちらから訪問させて頂く事は、

益々重要になってくると思います。一方、ホームページを充実させネット販売も追及したいと考えています。現代において、スマートフォンやパソコンから買い物をする人がどんどん増えています。若い人達だけでなく、中高年の方も家に居ながら商品を購入出来ることは大変便利な事と思います。

地域との関わり

青年会議所や商工会青年部で活動することで、今まで知らなかった田原の街を知ることが出来ました。街なかでは商店が減少していますが、少しでも魅力ある街づくりを進め活気ある街なかにしていきたいと思っています。

2年に一度実施している市民アンケートでは、8割以上の市民の皆様が田原市は住みやすいという意見が多く、一度は市外に出て行った方が、再び帰って来ることも多いそうです。

昨秋、駅前通り線が開通しましたが、田原の街なかが通過点ではなく、立ち寄って頂けるような場所になるよう、地域ぐるみで出来る事を実践していけると良いですね。

【次回のお知らせ】

次回は、丸一電器さんからバトンを受け取った「居酒屋きらく」の早田長史さんをご紹介します。お楽しみに♪

